

【例題3】問題

平成18年3月31日における北日本商店(決算 年1回 3月31日)の決算  
理後残高試算表は、次のとおりであった。この決算整理後残高試算表  
と参考資料によって、損益計算書と貸借対照表を作成しなさい。

決算整理後残高試算表  
平成18年3月31日

借 方	勘 定 科 目	貸 方
195,000	現 金	
543,000	当 座 預 金	
840,000	売 掛 金	
365,000	売 買 目 的 有 価 証 券	
212,000	繰 越 商 品	
500,000	備 品	
	備 品 減 価 償 却 累 計 額	?
	買 掛 金	326,500
	借 入 金	360,000
	貸 倒 引 当 金	16,800
	資 本 金	?
	売 上	1,800,000
	有 価 証 券 評 価 益	6,000
?	仕 入	
279,000	給 料	
48,000	支 払 家 賃	
26,000	消 耗 品 費	
?	支 払 保 険 料	
4,700	雑 費	
18,000	支 払 利 息	
?	貸 倒 引 当 金 繰 入	
45,000	減 価 償 却 費	
4,000	前 払 家 賃	
9,300	消 耗 品	
	未 払 利 息	4,500
4,148,800		4,148,800

参考資料

- (1) 期首商品棚卸高 ￥223,000  
当期商品仕入高 ￥1,033,000
- (2) 貸倒引当金は、売掛金の2%を計上している。ただし、決算整理前の貸倒引当金の残高は、￥10,000であった。

【例題3】答案用紙

貸借対照表  
平成18年 3月31日

資 産	金 額	負債および資本	金 額
現金	( )	買掛金	( )
当座預金	( )	借入金	( )
売掛金	( )	未払利息	( )
貸倒引当金	( )	資本	( )
有価証券	( )	当期純利益	( )
商備	( )		
減価償却累計額	135,000 ( )		
前払家賃	( )		
消耗品	( )		
	( )		( )

損益計算書  
平成17年 4月 1日から平成18年 3月31日まで

費 用	金 額	収 益	金 額
売上原価	( )	売上高	( )
給仕料	( )	有価証券評価益	( )
支払家賃	( )		
消耗品費	( )		
貸倒引当金繰入	( )		
減価償却費	( )		
支払保険料	( )		
雑費	( )		
支払利息	( )		
当期純利益	( )		( )
	( )		( )

【例題3】解答

貸借対照表  
平成18年 3月31日

資 産	金 額	負債および資本	金 額
現金	195,000	買掛金	326,500
当座預金	543,000	借入金	360,000
売掛金	840,000	未払利息	4,500
貸倒引当金	16,800	資本金	1,500,000
有価証券	365,000	当期純利益	325,500
商備	212,000		
備	500,000		
減価償却累計額	135,000		
前払家賃	4,000		
消耗品	9,300		
	2,516,500		2,516,500

損益計算書  
平成17年 4月 1日から平成18年 3月31日まで

費 用	金 額	収 益	金 額
売上原価	1,044,000	売上高	1,800,000
給料	279,000	有価証券評価益	6,000
支払家賃	48,000		
消耗品費	26,000		
貸倒引当金繰入	6,800		
減価償却費	45,000		
支払保険料	9,000		
雑費	4,700		
支払利息	18,000		
当期純利益	325,500		
	1,806,000		1,806,000

決算整理後残高試算表の「繰越商品」の金額は期末商品棚卸高です。

決算整理後残高試算表の「仕入」の金額は売上原価をあらわします。

売上原価の金額 = 223,000 + 1,033,000 - 212,000 = 1,044,000

決算整理後残高試算表の貸倒引当金繰入の金額は次の計算で求めます。

16,800 - 10,000 = 6,800

決算整理後残高試算表の備品減価償却累計額の金額は答案用紙の貸借対照表の金額です。

決算整理後残高試算表の「支払保険料」の金額は借方合計からの差額で計算できます。

決算整理後残高試算表の「資本金」の金額は貸方合計からの差額で計算できます。